

第19回 北上川水系河川整備学識者懇談会

議事要旨

日時：令和5年11月28日（火） 13:30～15:30

場所：ホテルメトロポリタン 本館4階 姫神

（事務局説明を除く質疑応答について記載 ○：委員、●：事務局）

1. 北上川水系直轄河川改修事業の再評価について

- 費用対効果には地域性が存在するが、それを流域全体として一括で評価してもよいものか。
- 空間的な観点について、お金を一番効率的に使うにはどの空間でも同じ $\Delta B/\Delta C$ となるようにするのが最適だが、そのような方針にするのかも含めて戦略的に考えていく必要がある。気候変動のような不確実性がある中でプロジェクトを効率的に進めるためには、リアルオプションという確立された方法があるので、導入していただきたい。
費用便益分析というのはプロジェクトをどの程度の規模にすべきか最適に決めることができるため、どういうプロジェクトにすべきかを費用便益分析で決めてから、それに従って進めることが必要だと思う。
- 沿岸経済を豊かにするため、ダム操作に合わせて堆砂を人工的に下流へ流すような考え方もあると思う。
- 河道掘削による環境への影響はそれぞれの場所ごとには配慮されているようだが、水系全体としてはどう配慮されているのか。
- 流域全体として土砂が循環してよくなるように流域治水を進めることが我々の役割であると思っているので、引き続きアドバイスをいただきながら積極的に取り組んでいく。
- 環境への取組や配慮を可視化できるようにしていただきたい。今後、この先を踏まえた事業計画をするときには、環境への取組等も積極的に盛り込んでいただきたい。

2. 審議結果

- ・以下のとおりとすることで、懇談会の承認を得た。
 - 北上川直轄河川改修事業について、事業の継続は妥当と判断する。
 - 下記の通り参考意見を付す。
 - (1) 河川環境への配慮・取組等について次回以降報告のこと。
 - (2) 地域性を考慮した事業評価を検討すべきとの意見があった。